

ご 注 意

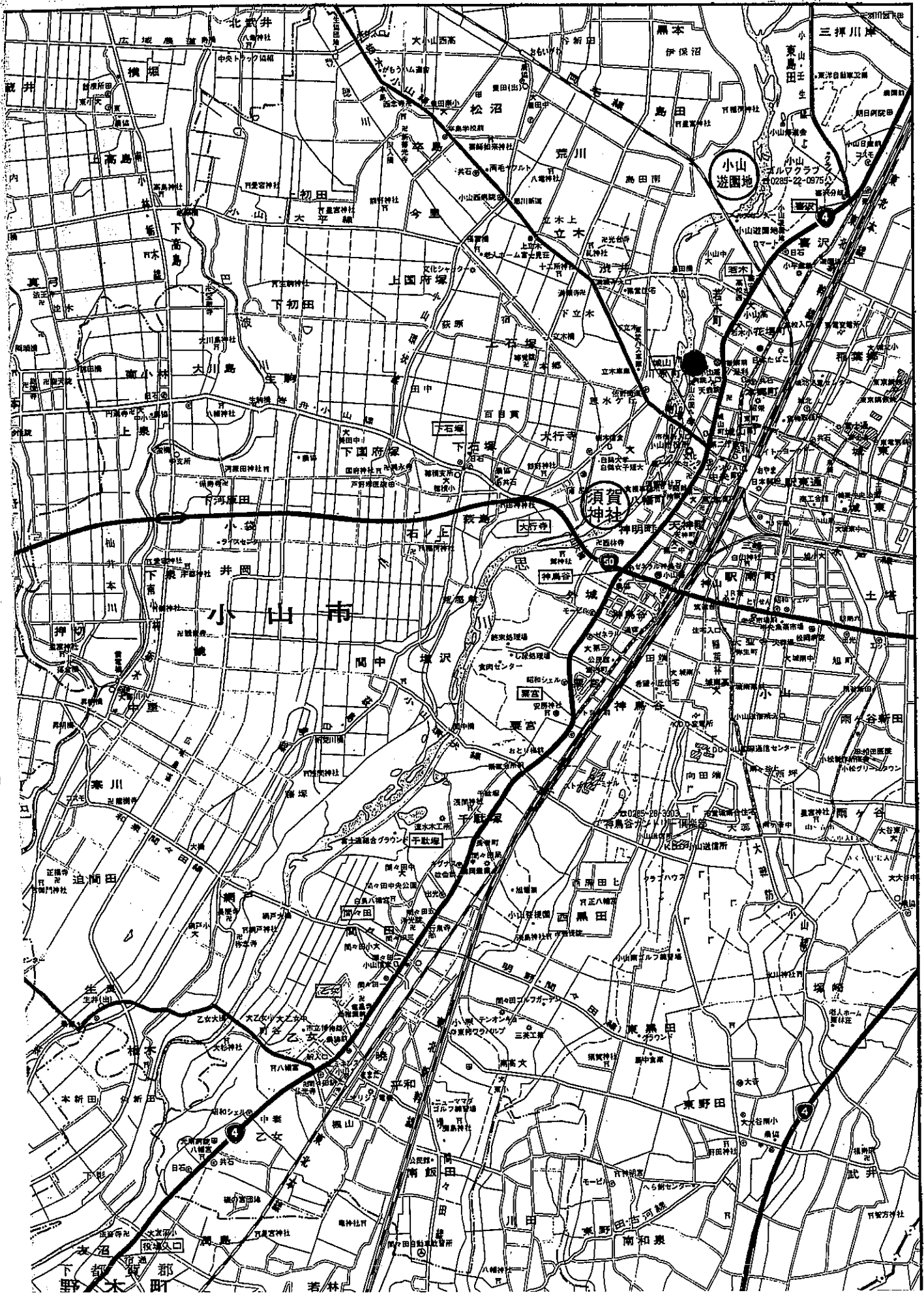
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

●.....調査地



ス

実測縦横断面

既存建物
マニホール室

既存建物
液酸タンク

7.00

既存建物
RIホブ室

№2
H=-0.023

№1
H=+0.004

申請部分
衛生看護科実習室
BM
H=±0.000

取捨カイン撤去

申請建物
自転車置場

既存建物
自転車置場

25.00 28.75 4.00 3.00 1.20
12.80

既存部分

中病棟・中央診療棟

北病棟・外来棟

主出入口

自転車置場
既存建物

既存建物

97

調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査
ボーリング孔：No. 2

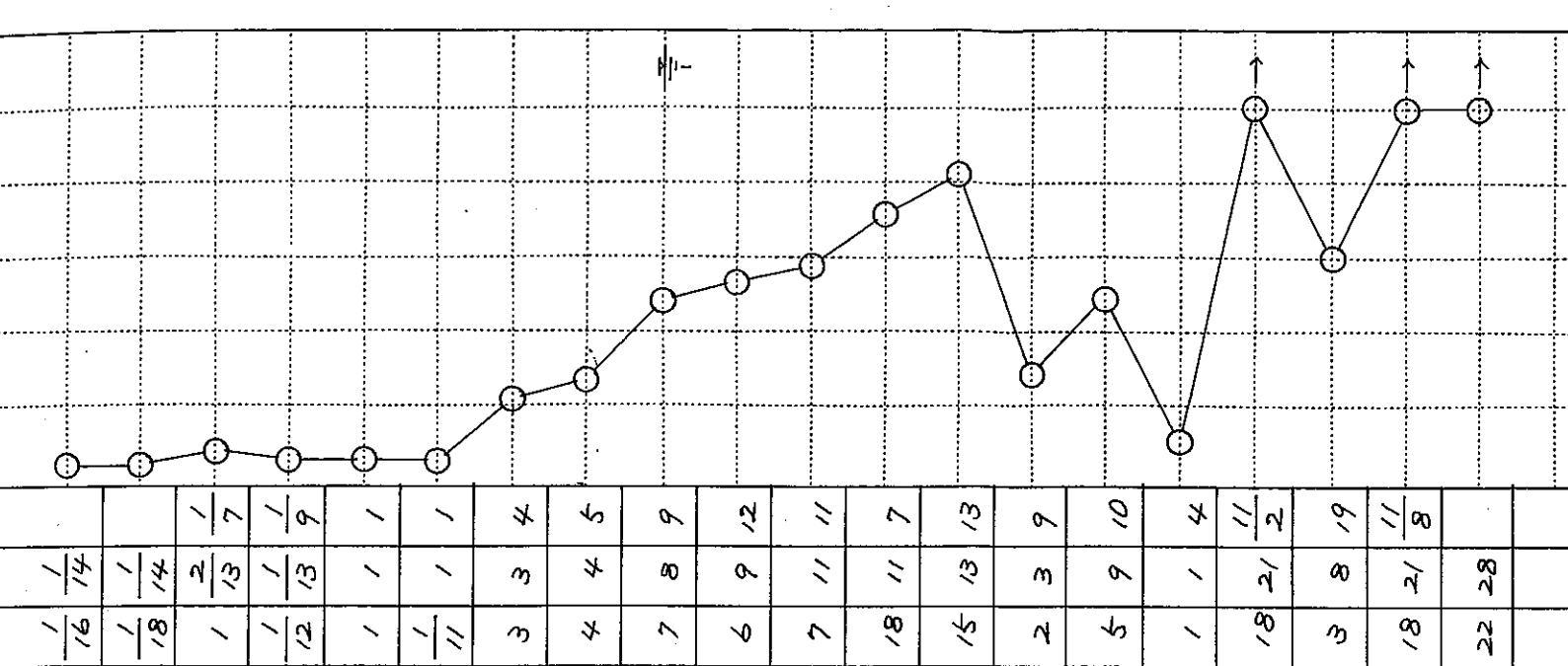
調査年月日 6年7月の5日

調査担当者

標高 m 0.023 m

孔内水位 G.L. 9.00 m

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	現場観察色調	記事	標準貫入試験			N	値	試験採取	試験番号	採取方法
								打撃回数	10 cm 打撃回数	深さ m					
1	0.52	0.50	0.50	埋	土	茶	殻・石灰・玉石混入。ローム系の粘性土主体	2	1	1	0				
2	2.12	2.10	1.30	口	土	茶	スコリア少量混入。粘性強い。	30	14	14	0				
3	2.62	2.50	0.50	軽	石	黄	スコリア混入。金水多量粗粒状	32	18	18	0				
4							腐植物・有機物混入。下部若干シルト性帯あり。	4	13	13	0				
5	4.92	4.90	2.30	口	土	茶	腐植物・シルト散在。部分的に砂分多い。	30	11	11	0				
6	5.52	5.80	0.90	砂	口	茶	腐植物・シルト散在。	31	11	11	0				
7	6.52	6.80	1.00	シルト	微砂	乳	腐植物・シルト散在。	11	3	3	4				
8	8.72	8.70	1.90	砂	混	茶	砂5~25%程度のシルト混入。角状多量。少量の粘性帯あり。	13	4	4	5				
9	9.92	9.90	1.20	砂	混	茶	砂5~30%程度のシルト混入。円角状多量。少量の粘性帯あり。	24	7	8	9				
10	10.22	10.20	0.20	砂	混	黄	円角状多量。少量の粘性帯あり。	30	6	9	12				
11	11.02	11.00	0.90	砂	混	黄	円角状多量。少量の粘性帯あり。	27	7	11	11				
12							最大径φ50%前後。砂5~25%程度のシルト混入。円角状多量。少量の粘性帯あり。	36	18	11	7				
13	13.72	13.70	2.70	砂	混	黄	円角状多量。少量の粘性帯あり。	30	15	13	13				
14							円角状多量。少量の粘性帯あり。	14	2	3	9				
15	15.42	15.40	1.70	シルト	混	黄	円角状多量。少量の粘性帯あり。	24	5	9	10				
16	15.92	15.90	0.50	シルト	混	乳	円角状多量。少量の粘性帯あり。	6	1	1	4				
17	16.72	16.70	0.80	粘	土	暗	円角状多量。少量の粘性帯あり。	30	18	21	2				
18	17.82	17.80	1.10	シルト	混	暗	円角状多量。少量の粘性帯あり。	50	18	21	11				
19	18.37	18.35	0.55	シルト	混	暗	円角状多量。少量の粘性帯あり。	22	3	8	19				
20	19.82	19.80	1.45	中	砂	暗	円角状多量。少量の粘性帯あり。	30	18	21	11				
21	20.37	20.35	0.55	砂	混	黄	円角状多量。少量の粘性帯あり。	50	22	28	28				



備考：
 ● デニソン型サンプラー
 ⊕ ファイルサンプラー
 ○ シンウォールサンプラー
 × 買入試験用サンプラー
 ○ その他

小山城南高校衛生看護科実習室

調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査

ボーリング孔：A

標高

±0.0:0.4 m

調査年月日 6年7月21日～7月23日

孔内水位 G.L.-7.40 m 調査担当者

標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験		試験値	試験採取			
				土質名	色調	記	事			打撃回数	10cmごとの打撃回数	試験番号
1	0.90	0.90	0.90	埋土	茶褐色	玉石・レキ・殺混入。ローム系の粘性土主体。	3	1	1			
2	2.00	2.00	1.10	口	茶褐色	腐植物混入。粘性強い。	2	1	1			
3	2.60	2.60	0.60	軽石	黄橙灰	スコリア混入。φ1~6mm程度の円粒状。	3	1	1			
4	4.90	4.90	2.30	口	茶灰	腐植物、有機物混入。やや粘性強い。	4	1	1			
5	5.70	5.70	0.80	砂質ローム	茶褐色	腐植物混入。シルト片散在。所々砂分接有。	4	1	1			
6	6.80	6.80	1.10	シルト質微砂	乳茶灰	有機物混入。シルト片散在。	4	1	1			
7	8.80	8.80	2.00	礫混細砂	茶褐色	φ2~20mm程度の円粒存在。浮石混入。少量の粘性帯あり。	13	3	5			
8	10.70	10.70		暗	暗褐色	最大径φ100%前後。φ2~25%程度の円角レキ混入。	10	13	13			
9	12.90	12.90	4.10	砂	暗黄灰	マトリックは、砂系及び少量の粘性土。崩壊性少ない。	32	8	11			
10	15.80	15.80	2.90	シルト混細砂	暗黄灰	浮石多混入。シルト・砂系の互層。また混合状。	7	2	3			
11	16.90	16.90	1.10	シルト質粘土	暗黄灰	腐植物混入。若干腐食性帯あり。	13	3	5			
12	17.90	17.90	1.00	細砂	暗黄灰	石英砂混入。褐色。シルト質細砂不規則に接有。	30	3	4			
13	18.30	18.30	0.40	シルト	乳	腐食性帯あり。	12	3	4			
14	19.60	19.60	1.30	細砂	暗黄灰	φ2~15mm程度の円角存在。石英混入。粒子不均一。	10	3	3			
15	20.30	20.30	0.70	礫混中砂	淡黄灰	φ2~20mm程度のレキ散在。粗・細粒砂多混入。全体に粒子粗い。	30	18	17			

備考:

試験採取方法の記号

- デニソン型サンプラー
- ⊕ シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー
- ⊗ フォイルサンプラー
- × その他